



平成 17年 3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 16年 7月 30日

上場会社名 株式会社 ヤクルト本社  
 コード番号 2267  
 (URL <http://www.yakult.co.jp>)  
 代表者 代表取締役社長 堀 澄也  
 問合せ先責任者 取締役 大坪 勝己

上場取引所 東証 大証  
 本社所在都道府県 東京都  
 TEL (03) 3574 - 8960

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 税金費用の計算などについては、一部簡便的な方法を採用しています。
- ②連結及び持分法の適用範囲の異動状況 : 無
- ③監査法人による監査は受けていません。
- ④連結子会社の決算日は12月31日であり、当該四半期実績は1月1日～3月31日の実績となります。
- ⑤記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 平成17年 3月期 第1四半期の業績概況(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 16年 6月 30日)

(1)連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3月期第1四半期	59,213	0.9	3,082	-	4,663	-
16年 3月期第1四半期	58,670	-	-	-	-	-
(参考)16年 3月期	238,847		16,394		23,144	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年 3月期第1四半期	2,363	-	13.55		-	
16年 3月期第1四半期	-	-	-		-	
(参考)16年 3月期	15,083		85.27		-	

(注)売上高以外の四半期業績の開示は当期から実施しているため、対前年同四半期実績および増減率については記載していません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の増加による企業業績の回復や設備投資の拡大に加え、雇用情勢の改善が進み、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気回復の兆しも表れてきました。

このような状況のなかで、当第1四半期の連結売上高は 59,213百万円となりました。利益面においては、連結経常利益は 4,663 百万円、連結第1四半期純利益は2,363百万円となりました。

(2)連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3月期第1四半期	282,588	183,730	65.0	1,053.36
16年 3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年 3月期	286,388	182,766	63.8	1,047.78

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

[財政状態(連結)の変動に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は282,588百万円、負債は85,323百万円となりました。

なお、株主資本は183,730百万円となり、株主資本比率は65.0%となりました。

(3)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 62 社 持分法適用非連結子会社数 0 社 持分法適用関連会社数 3 社

3. 17年 3月期の連結業績予想(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日)

業績は概ね決算発表時の予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。

なお、当社は厚生年金基金の代行部分について、平成15年7月25日に厚生労働大臣から将来分支給義務免除の認可を受けていましたが、平成16年7月28日に過去分返上と確定給付型企业年金への移行について、厚生労働大臣への認可を申請しています。これによる損益影響額については、現在計算中であり、連結業績予測には織り込んでいません。

(添付資料)

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 (平成16年 6月30日現在)	前連結会計年度 (平成16年 3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	136,165	149,745
固定資産	146,422	136,642
資産合計	282,588	286,388
(負債の部)		
流動負債	59,053	65,015
固定負債	26,270	25,338
負債合計	85,323	90,353
(少数株主持分)		
少数株主持分	13,534	13,268
(資本の部)		
資本合計	183,730	182,766
負債、少数株主持分 及び資本合計	282,588	286,388

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 自平成16年 4月 1日 至平成16年 6月30日	前連結会計年度 自平成15年 4月 1日 至平成16年 3月31日
売上高	59,213	238,847
売上原価	26,057	108,695
売上総利益	33,155	130,151
販売費及び一般管理費	30,072	113,756
営業利益	3,082	16,394
営業外収益	1,917	8,550
営業外費用	335	1,801
経常利益	4,663	23,144
特別利益	119	6,406
特別損失	722	3,957
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,060	25,592
法人税等	1,276	9,078
少数株主利益	420	1,430
四半期(当期)純利益	2,363	15,083

当第1四半期  
(百万円)

前連結会計年度  
(百万円)

1. 営業外収益の主要項目

受取利息	252	1,093
ロイヤリティ収入	607	2,563
持分法による投資利益	652	2,710

2. 営業外費用の主要項目

支払利息	71	327
------	----	-----

3. 特別利益の主要項目

厚生年金基金代行返上益	-	5,907
-------------	---	-------

4. 特別損失の主要項目

退職給付引当金繰入額	682	3,032
------------	-----	-------

(参考1) 当該四半期の販売実績を事業の種類別ごとに示すと次のとおりです。

(単位:百万円)

	飲料および食品 製造販売事業	医薬品製造 販売事業	その他事業	計
平成17年3月期第1四半期	52,298	3,119	3,794	59,213
平成16年3月期第1四半期	49,816	4,999	3,854	58,670
(参考)平成16年3月期	206,423	18,181	14,242	238,847

(参考2) 当該四半期の販売実績を所在地別ごとに示すと次のとおりです。

(単位:百万円)

	日 本	米州地域	アジア・ オセアニア地域	ヨーロッパ地域	計
平成17年3月期第1四半期	49,123	5,352	2,226	2,511	59,213
平成16年3月期第1四半期	48,573	6,001	1,682	2,412	58,670
(参考)平成16年3月期	198,878	22,204	8,757	9,006	238,847

#### [売上高に関する補足説明]

##### ・飲料および食品製造販売事業部門

乳製品については、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」が前期に引き続き好調に推移しました。また、ライトタイプの乳製品乳酸菌飲料「ヤクルトLT」および本年4月にパッケージデザインをリニューアルした、のむヨーグルト「ジョア」も前年同期を大きく上回りました。しかしながら、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」をはじめとした他の乳製品の売上げが前年同期を下回るなど、乳製品全体としては厳しい営業展開を余儀なくされました。

ジュース・清涼飲料については、本年3月にリニューアルしたNEW「タフマン」および新たにシリーズ品として発売した「タフマンV」、本年4月にリニューアルした乳性飲料「ミルージュ」、本物志向・健康志向の「黒酢ドリンク」などの商品が好調に推移しました。また、キリンビバレッジ株式会社との自動販売機における製品相互販売の効果によって珈琲や紅茶も前年同期を大きく上回り、自動販売機の台当たり売上げがアップするなど、ジュース・清涼飲料全体としては好調なスタートを切りました。

海外については、米州地域で前年同期を下回っているものの、オーストラリア、広州が大きく伸長するなど、アジア・オセアニア地域が順調に推移しており、全体では前年同期を上回る販売本数となりました。

なお、販売実績は平成16年6月度の一日当たり平均販売本数で約1,569万本となっています。

また、本年6月にはオーストラリアヤクルトからニュージーランドへの乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の輸出および販売を開始しています。

##### ・医薬品製造販売事業部門

医薬品については、国内外において「カンプト注」に重点をおいた販売活動を展開していますが、特に海外向けについては、売上げが停滞していることが大きく影響し、昨年来、厳しい状況で推移しています。

##### ・その他事業部門

化粧品については、「さらさらサンスクリーンスーパー」「薬用ハンドソープ」の追加発売により、「ポッシュママ」シリーズが好調に推移したものの、主力商品である基礎化粧品が前年並みの実績にとどまりました。

(参考3)平成17年3月期第1四半期売上高(個別)の状況は次のとおりです。

	平成17年3月期 第1四半期	平成16年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成16年3月期
売上高	百万円 38,175	百万円 40,150	% 4.9	百万円 157,466

(品目別内訳)

(単位:百万円)

	平成17年3月期 第1四半期	平成16年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成16年3月期
乳製品	19,948	20,515	2.8 %	79,307
ジュース・清涼飲料	11,620	10,860	7.0 %	43,779
化粧品	1,456	1,493	2.5 %	6,752
医薬品	3,119	4,999	37.6 %	18,181
その他	2,030	2,281	11.0 %	9,446
合計	38,175	40,150	4.9 %	157,466

以上